

## 2009年第4回定例会

### 議案第49号一般会計補正予算に対する反対討論

日本共産党議員団を代表して、議案第49号、平成21年度一般会計補正予算案に対する反対討論を行います。

この補正予算で、来年度から3年間、鳥飼北小学校における給食調理業務の民間委託契約を締結するために6600万円の債務負担行為が計上されました。

第3次行革の方針に基づき職員数と経費の削減を目的として実施される学校給食調理業務の民間委託は、2008年4月に摂津市ではじめて鳥飼西小学校で実施され、今回が2校目となります。

鳥飼西小学校における民間委託の検証結果でも問題はないとしていますが、私たちは次の5点について大いに問題があると考えます。

第1に、公的責任の後退とともに市職員の士気の低下を招きかねないということです。摂津市の学校給食は長年、学校、保護者、調理員の努力によって発展し、安全でおいしいと高い評価を保護者や子どもから得ています。そして、その担い手である調理員は、教育の一環として実施される給食の一翼を担うとともに、食と衛生管理のプロとしての技能を生かすことができる、誇るべき職員です。退職者不補充の方針により、職場を縮小され、次々と民間会社にとってかえられるようなことを続け、市職員のモチベーションを著しく低下させていくことは、摂津市全体にとって大きな損失といえるのではないのでしょうか。

第2に、衛生管理など安全性に不安が大きいこと。

鳥飼西小学校では、委託会社のパート調理員は現場で半数を占めますが、この1年半働き続けた人はいません。低賃金不安定なパート労働者は職場での定着率が悪く、技術や衛生管理の知識が不足しているのではないかと心配です。

第3に、民間委託においても直営同様に安全安心の給食を実施しようとすればするほど、偽装請負の疑いが大きくなることです。

契約形態は、委託契約であっても、その実態は、メニューを作成し、食材は提供する。調理方法、配管配膳、洗浄清掃など細かな指示をだし報告を義務付ける。設備や調理備品などすべて無償貸与。これでは、請負を装った派遣、いわゆる偽装請負の疑いが濃いといえます。

第4に、年間約1,500万円と説明する経費削減効果は、計算手法や人件費の考え方によって大きく変動し、本当に経費が削減されるのかどうか大きな疑問が残ることです。

最後に、その進め方が拙速すぎるということです。すでに1校実施しているとはいえ、様々な問題がある民間委託を、冬休みや忙しい3学期の間に進めてしまおうというやり方には、地域や保護者への説明責任をはたし、合意と協力を求めるという姿勢が感じられません。諸問題を明らかにせず合意なしに強行することのないよう求めます。

以上、反対討論とします。